

## 審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

### 【酪農学園大学】

#### <教育課程審査>

- ① P47 授業科目「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ、Ⅱ」の名称に関して、高校（地理歴史）の免許状科目ではないのに「地理歴史科」を名称として使用することは不相当である。名称について再検討すること。（例えば、「社会科教育法（地理歴史分野）」など）

(対応)→	・ 授業科目の名称を以下の通り修正する。 「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ」 →「社会科教育法Ⅰ（地理歴史）」 「社会科・地理歴史科教育法Ⅱ」 →「社会科教育法Ⅱ（地理歴史）」 (シラバス添付 p14-17)
-------	---

- ② P47-48 授業科目「社会科・地理歴史科教育法Ⅰ、Ⅱ」のシラバスについて、コアカリキュラムに定める到達目標（１）１）「学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。」の内容が含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・ 授業科目の名称を「社会科教育法Ⅰ（地理歴史）、社会科教育法Ⅱ（地理歴史）」とした上で、そのシラバスについて、教職課程コアカリキュラムに定める到達目標（１）１）「学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。」の内容が含まれていることが分かるよう、授業計画を明確化した。 (シラバス添付 p14-17)
-------	--

- ③ P43-46 授業科目「社会科・公民科教育法Ⅰ、Ⅱ」のシラバスについて、コアカリキュラムに定める到達目標（１）１）の内容が含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・ 「社会科・公民科教育法Ⅱ」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムに定める到達目標（１）１）の内容が含まれていることが分かるよう、授業計画を明確化した。 (シラバス添付 p12-13)
-------	---

- ④ P131 授業科目「教育相談論」のシラバスについて、コアカリキュラムに定める到達目標（2）2）3）の内容が含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	・「教育相談論」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムに定める到達目標（2）2）3）の内容が含まれていることが分かるよう、授業計画を明確化した。 (シラバス添付 p21)
-------	---

- ⑤ P114 授業科目「教育心理学」のシラバスについて、コアカリキュラム対応表に記載している（2）3）と授業計画との対応関係が読み取れないため、シラバス及びコアカリキュラム対応表を再度確認の上、両者の対応関係が読み取れるように修正を行うこと。あわせて、シラバスとコアカリキュラムの対応関係を再度見直すこと。

(対応)→	・「教育心理学」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラム対応表に記載している（2）3）の内容に基づき追記し、授業計画においてその内容を取り扱っていることを明確にした。また、それに伴い、コアカリキュラム対応表も一部修正した。 (シラバス添付 p18) (コアカリキュラム対応表p7)
-------	---